

| | | | |
|--|---|-----------------------|------|
| 授業科目名(英文名) / Course Title | 地域看護学総論/Introduction of Community Health Nursing | | |
| 担当教員(所属)/Instructor | 田村 須賀子(医学部) | | |
| 授業科目区分/Category | 専門教育科目 看護学 | | |
| COC+科目/COC+Course | - | 授業種別/Type of class | 講義科目 |
| 開講学期/Period | 2019年度/Academic Year 前期・月曜2限 | 対象所属/Eligible Faculty | 看護学科 |
| 時間割コード/Registration Code | 154530 | 対象学年/Eligible grade | 3年 |
| ナンバリングコード/Numbering Code | M2850530100 | 単位数/Credits | 2単位 |
| オフィスアワー(自由質問時間) /Office hours | 田村 須賀子【前期】火曜日 11:00-13:00、金曜日 11:00-13:00 【後期】水曜日 11:00-13:00、金曜日 11:00-13:00 ただし、不在の時があるのでメールにて事前連絡をしてください。) | | |
| リアルタイム・アドバイス/Real-time advice | 更新日 | | |
| 授業中の指名はしませんが、講義の最後に学んだこと、大事だと思ったこと、理解しにくかったことを書いてもらいます。書いてくださったことについては、次回以降の講義・演習に反映させますので、ご自分の意見として明確に記載してください。 | | | |
| 授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学習目標)/Course Objective | | | |
| 地域看護学の概念・機能・特性・課題について理解し、看護学における地域看護学の位置づけを概観できるようにする。 地方自治体の保健師業務に従事し、対人保健予防活動に携わった経験を持つ教員が、地域看護活動の本質について総論を講義する。また養護教諭として従事した者が学校看護を、事業所保健師として従事した者が産業看護の実践的展開法について講義する。 | | | |
| 達成目標/Course Goals | | | |
| 1)地域看護学の概念と機能について理解する。 2)地域看護の対象の特性と活動の類型について理解する。 3)地域看護の役割と課題について理解する。 4)学校保健の概要、養護教諭の職務内容について理解する。 5)産業の場で働く労働者の生活・労働環境と健康問題と、働く人々の健康の保持・増進を支援する看護職の役割と機能について理解する。 | | | |
| 授業計画(授業の形式、スケジュール等)/Class schedule | | | |
| 1-7回 地域看護・公衆衛生看護 8-11回 学校看護活動 12-15回 産業看護活動 | | | |
| 授業時間外学修(事前・事後学修)/Independent Study Outside of Class | | | |
| 自己学習課題として、地域のヘルスアセスメントが https://lms.u-toyama.ac.jp/login/index.php に置いてあります。WEB フォーラムへの参加と課題提出してください。 講義で使用したスライド、紹介した参考文献も、 https://lms.u-toyama.ac.jp/login/index.php に置いてあります。自己学習に活用してください。 | | | |
| キーワード/Keywords | | | |
| 地域看護・公衆衛生看護・学校看護・産業看護 実務経験教員科目 | | | |
| 履修上の注意/Notices | | | |
| 講義において教員が示すものにこだわらない、広い視野と柔軟な発想・思考をもって臨まれたい。教員も共に気づき、看護援助について考える機会にしたい。なお、ここで学ぶ内容は地域看護方法論Ⅰ・Ⅱの基盤となり、地域看護実習に応用される。 | | | |
| 教科書・参考書等/Textbooks | | | |
| 宮崎美砂子他編:最新公衆衛生看護学 第3版総論.日本看護協会出版会 2019. 定価 4,700円 牛尾裕子他編:ワークブック地域/公衆衛生看護活動事例演習. クオリティケア 2019. 定価 2,600円 宮崎美砂子他編:最新公衆衛生看護学 第3版各論 2.日本看護協会出版会 2019 定価 3,700円 産業保健ハンドブック編集委員会編:産業保健ハンドブック 労働調査会 最新版.600円 | | | |
| 成績評価の方法/Evaluation | | | |
| 評価に対するすべての目標の寄与率は同等です。 定期試験(60%), 課題レポート(20%), 授業参加状況の出席票による評価(20%), WEB フォーラム参加・課題提出(10点を上限に加算) | | | |
| 関連科目/Related course | | | |
| 地域看護方法論Ⅰ 地域看護方法論Ⅱ 地域看護学実習 在宅看護論 在宅看護実習 | | | |
| リンク先 URL/URL of syllabus or other information | | | |
| U.ToyamaMoodle 3 : https://lms.u-toyama.ac.jp/login/index.php | | | |
| 備考/Notes | | | |